

国際協力研修「保健衛生管理セミナー」

Health Systems Management Course

(実施期間:2017年5月9日~6月2日)

1. 本研修の概要

多くの開発途上国において、いわゆるヘルスセクターリフォーム（保健セクター制度改革）が計画されている中、保健省をはじめとする保健医療行政組織の能力向上が大きな課題となっている。本研修は、研修員個々の直面する保健医療サービスの提供の課題解決に必要なマネジメント能力の向上を通じて、当該諸国の公衆衛生機関の組織能力向上を図ることを目的とした。

2. 実施方法



【集合写真 本院：玄関ロビー】

当研修は2017年度で28回目を迎え、2017年5月9日（火）から6月2日（金）の約3週間の期間で実施した。国立保健医療科学院、JICA 東京センターにおいて、講義や演習を行った。

研修の内容は、保健医療の課題を解決するため保健医療従事者のコンピテンシー、特に、マネジメント能力の向上を図るため問題分析把握、人材管理、保健財政、リーダーシップ、チームビルディング、コミュニケーション、保健医療サービスの質の向上などの講義と演習、そして地方自治体の保健衛生行政視察（滋賀県）、自治医科大学における施設見学と地域医療に関する講義等で構成した。本研修では、演習、グループワークを多く取り入れ、3週間の研修参加により、実際に参加者がチームとして目標を達成するプロセスをアクティブラーニング手法により学べるようにプログラムを工夫した。最後に、グループ別に課題解決に向けたディスカッションノートの発表を行った。

【集合写真 本院：玄関ロビー】



【講義風景 本院：4-2】

3. 対象国

本年度の対象国は、ブルンジ（2名）、ガーナ（1名）、ケニア（2名）、リベリア（2名）、マラウィ（1名）、ナイジェリア（2名）、シエラレオネ（1名）、タンザニア（1名）、ウガンダ（1名）の9か国からの合計13名で、研修参加者は、主に地方保健局、中央政府における公衆衛生を担う中堅技術専門官であった。



【施設見学 本院：高齢者疑似体験、浄水プラント】